

1. はじめに

東日本大震災を機に、小学校における防災教育の重要性が見直されるようになり、文部科学省は平成 24 年 4 月に「学校安全の推進に関する計画」を策定しました。一方、平成 25 年 6 月に国家戦略として閣議決定された「日本再興戦略」や「世界最先端 IT 国家創造宣言」では、2010 年代中に 1 人 1 台の情報端末による教育の本格展開に向けた方策を整理し、推進するとしています。

このような背景を鑑み、小学校における安全教育活動を効果的、効率的に支援するための Android タブレット端末を用いたシステムを開発しました。

2. 活動の概要

本システムは、地域の防災対策として実施されている「自主防災マップ活動」と、小学校の防犯教育として実施されている「地域安全マップ活動」を元に考案しました。システムを用いて行うことのできる活動の流れを図 1 に示します。

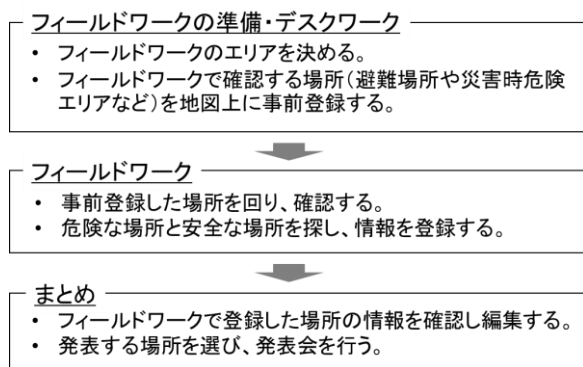


図 1 活動の流れ

本活動では、児童が目にする危険な場所や安全な場所の観点を防災、または防犯や交通安全などに限定したり、それらを組み合わせることで活動時間に合わせたフレキシブルな活動形態が可能で、活動する地域、学校に合わせた安全教育を行えるように考慮しています。

3. アプリケーション構成

小学校安全マップ活動に用いる Android タブレット端末向けアプリケーション(図 2)は、OpenStreetMap を利用し、活動に合わせた 3 つのモードと、その他の拡張機能を搭載しています(図 3)。



図 2 アプリケーション画面

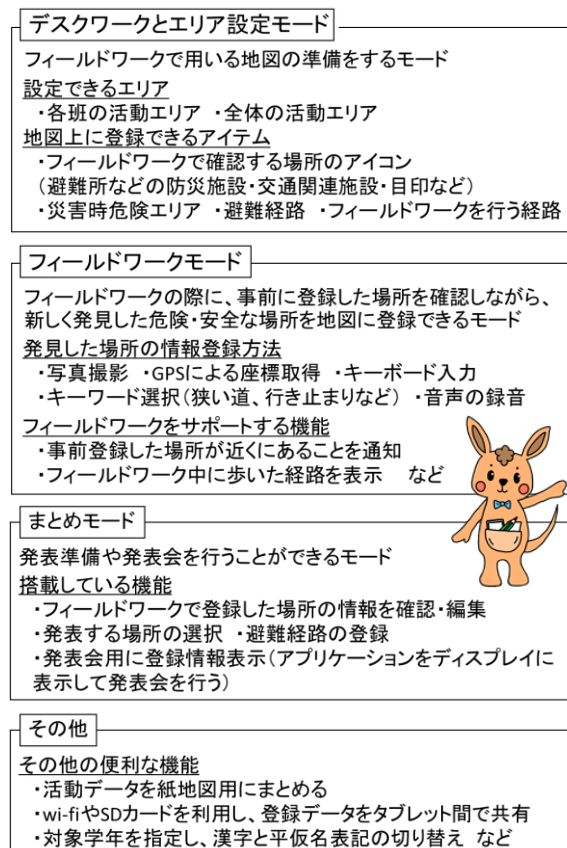


図 3 アプリケーションのモードと搭載機能

4. まとめ

本システムは、小学校における防災教育活動などの安全教育を通し、災害・犯罪・交通事故被害を少しでも低減したいと考え開発しました。これからの社会で子供たちがより力強く安全に生活できるきっかけとなれば嬉しく思います。